避難訓練実施計画（土砂災害）

１　日時　　　　　令和　　年　　月　　日（　　）　　　　　：　　　～　　　：

２　参加者　　　　計　　　名

　　　　　　　　　内訳　職員　　　　名、施設利用者　　　　名、地域住民等　　　　名

３　訓練想定

1. 実施場所
2. 避難場所
3. 想定気象状況

・　○月○日、前線の停滞と共に台風が接近

・　○時○分、県央部においては１時間降水量が○mmを超える降雨が続いており、盛岡地方気象台から大雨警報（土砂災害）が発表された。大雨警報（土砂災害）の危険度分布では、市内の複数箇所で土砂災害発生の危険度が高まっている。

４　実施前

・　「避難確保計画」の確認（防災体制、情報収集・伝達方法、避難誘導、避難経路、役割分担）

・　タイムラインの確認

「避難確保計画」中、参集基準や避難基準に合わせて、訓練参加者各々の個別行動を計画する。

・　机上訓練等の実施

　　　必要に応じて、事前に模擬避難訓練等を実施する。

５　訓練時

　　避難確保計画に基づき情報収集、避難誘導及び避難行動開始。なお、安全に避難するため、次の確認等を行う。

・　情報収集手段・伝達方法に問題がないか確認

・　災害時の避難経路の状況を想定し、危険箇所の確認

・　施設から避難場所までの移動時間の計測

・　避難中の疲労感の確認

６　訓練後

・　実施状況を振返り、「避難確保計画」に反映するとともに関係者間で共有する。

・　訓練実施報告書を市担当課へ提出。

訓練のポイント

１　防災体制

・気象警報等防災情報の収集等、各活動の対応要員を決めているか。

　・情報の収集・伝達に用いる設備が確保されており、正常に稼働するか。

２　避難誘導

・全職員が避難所及び経路の確認ができているか。

・避難先は避難の実効性が確保された場所に設定されているか。

・歩行困難者の移動手段が確保されているか。

・屋内安全確保（上層階への移動）ができる施設か。

・施設周辺や避難経路に危険個所がないか。

３　避難確保資器材

　・使用する資器材（食料含む）が必要数量確保されているか。

　・資器材の使用方法を把握しているか。

※必要に応じて訓練を実施（例：土のうの作成・積み方訓練等）

４　その他

・施設の火元等の安全の確認

・非常用持ち出し品の持参

・避難移動中の交通事故防止の注意喚起

・施設から避難場所までの移動時間の計測

・避難中の疲労感の確認